

泉PAスマートIC周辺道路案内標識等 の整備効果検証結果について

～利用者WEBアンケート調査～

令和4年3月
仙台市建設局道路計画課

1. 泉PAスマートICにおける取組状況と課題

○背景

- 泉PAスマートICの開通後の出入交通量は増加傾向で推移し、平成29年の出入交通量は計画交通量(2,300台/日)の約3倍(6,800台/日)まで増加した

○主な取り組み状況

- 泉PAスマートIC利用者の利用圏域や利用動向を携帯電話のビッグデータを用いて検証し、地区協議会にて今後の対策を検討(平成28年～)
- 利用者情報(利用目的、満足度等)を把握するために「WEBアンケート調査」を実施(平成30年2月)
- WEBアンケート調査結果および地区協議会の意見をふまえ、泉PAスマートICにおける課題と対応方針を整理(平成30年～)

○泉PAスマートICの課題

- スマートICへの案内標識がわかりづらい
- スマートIC利用促進のためのPRが必要

○対応方針

- 案内標識の充実・改善
- 仙台市HP掲載内容の改善(R2完了)

2. 道路案内標識等改善概要と改善効果の検証

○道路案内標識等改善概要

○ 令和2年4月より以下の対策を実施し令和3年3月に完了した

■道路案内標識の新設・修正：12箇所(16枚)

・ 既設案内標識の修正：11枚

・ 補助標識の新設：5枚

○改善効果の検証(令和3年度実施)

○ 対策した道路案内標識等の改善効果を「WEBアンケート調査」により利用者満足度を把握し検証を行う

○道路案内標識等の改善例

わかりやすい標識内容に修正



補助標識の新設



3. WEBアンケート調査実施方法（1）

道路案内標識等の改善効果を前回のWEBアンケート調査結果（H30.2実施）との比較により検証するために、前回調査と同様に下記のとおりWEBアンケート調査を実施した。

（1）調査方法

- マーケットリサーチ企業の登録モニターへ調査票を配信し回答を得るWEBアンケート。

（2）調査対象

- アンケートを東北6県内に居住者している登録モニターへ配信。
- **対策が完了した令和3年4月以降**に「自身が運転して泉PAスマートICを利用したことがある方」のみを対象。

（3）目標サンプル数（前回アンケートと同様）

- 総サンプル数：400 【内 圏域内利用者、圏域外利用者を各100サンプル以上取得】

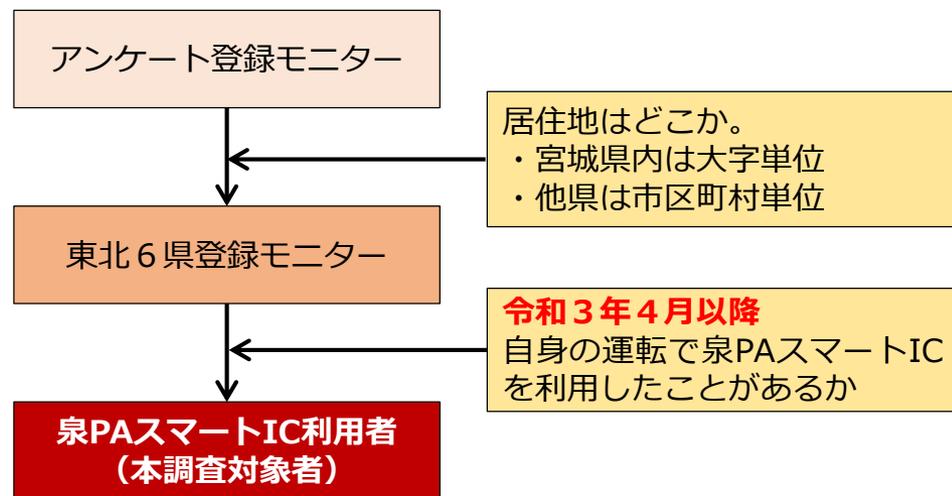
設問に「圏域内利用者」と「圏域外利用者」を区分する項目を設け判断する。

「圏域内利用者」：泉PAスマートICを往路の「乗り」、復路の「降り」の順で利用する方

「圏域外利用者」：泉PAスマートICを往路の「降り」、復路の「乗り」の順で利用する方

▼WEBアンケート調査の対象

項目	内容	備考
居住地	東北6県	
年 令	18歳以上	普通免許取得可能年齢
性 別	男・女	性別を問わない
条 件	令和3年4月以降に自身が運転して泉PAスマートICを利用したことがある方	



▲WEBアンケート調査対象者のスクリーニング

3. WEBアンケート調査実施方法（2）

（4）調査実施期間

- 令和3年11月29日（月）～12月1日（水）

（5）アンケート調査項目（以下「泉PAスマートIC」を「泉PASIC」という。）

質問の目的	設問項目	具体内容
利用者居住地の把握	1) 居住地住所	●宮城県民は自宅郵便番号、他の東北5県は市町村名
泉PASICの利用状況の把握	2) 高速道路利用区間	●往路（自宅・勤務地から目的地へ向かう場合）の利用開始IC、利用終了IC ●復路（目的地から自宅・勤務地へ向かう場合）の利用開始IC、利用終了IC
	3) 利用頻度・曜日	●泉PASICの利用頻度、利用する曜日（平日・休日）
	4) 移動目的	●泉PASIC利用時の移動目的
	5) 利用理由	●泉PASICを利用する理由
	6) 目的地・目的施設	●泉PASIC利用時の目的地・目的施設、泉PASIC周辺は代表的施設を選択
	7) 主な利用経路	●泉PASIC利用前後の経路（経由する道路と目的地・出発地の方面）
泉PASIC周辺の道路案内標識等の改善効果の把握	8) 利用有無	●泉PASIC利用時の道路案内標識利用の有無
	9) わかりやすさ	●泉PASIC周辺の道路案内標識のわかりやすさ、わかり難い場合の理由
	10) 誤進入の気づき	●泉PASIC利用時に歩行者、自転車の誤進入を見たことがあるか

（6）取得サンプル数

- 総数400【内 ※¹圏域内利用者：136 ※²圏域外利用者：197】

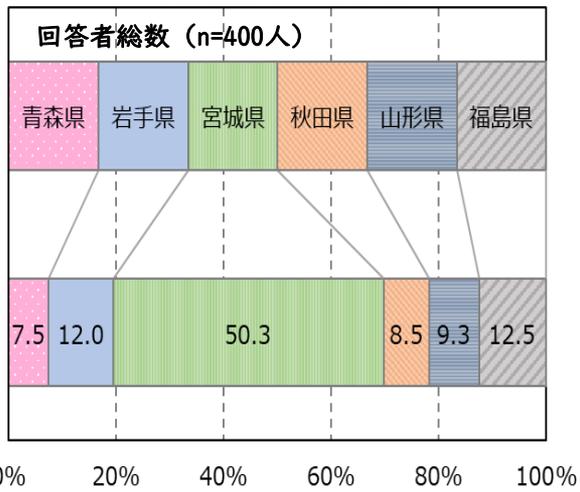
※1 設問上、圏域内利用者として抽出した方から宮城県外居住者の64サンプルを除外し算出

※2 設問上、圏域外利用者として抽出した方から泉区居住者の3サンプルを除外し算出

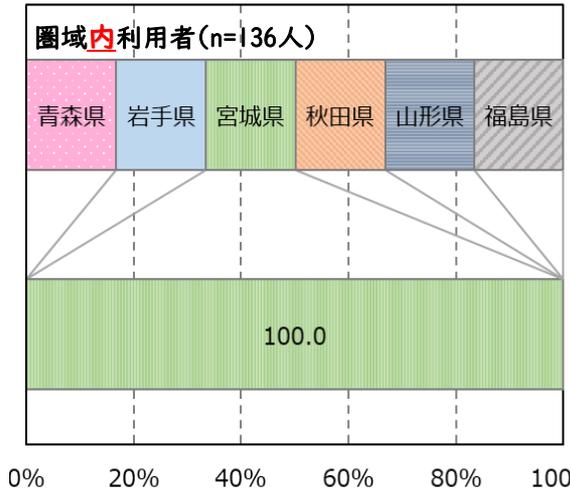
4. WEBアンケート調査結果【回答者の属性】

○回答者の居住地内訳

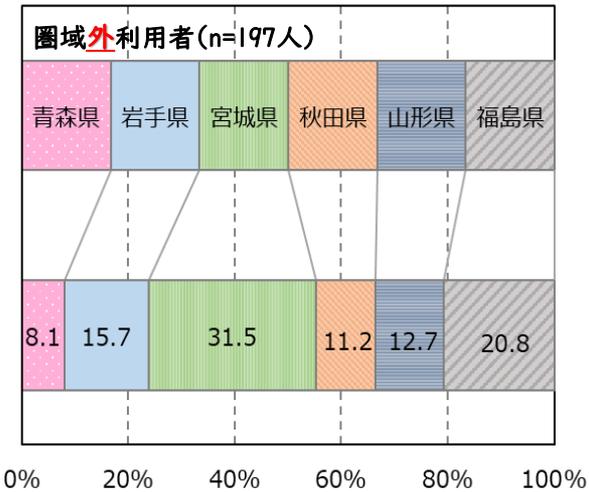
▼回答者全体の居住地



▼圏域内利用者の居住地

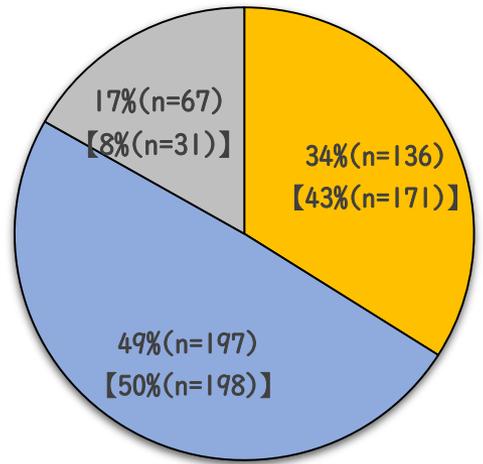


▼圏域外利用者の居住地



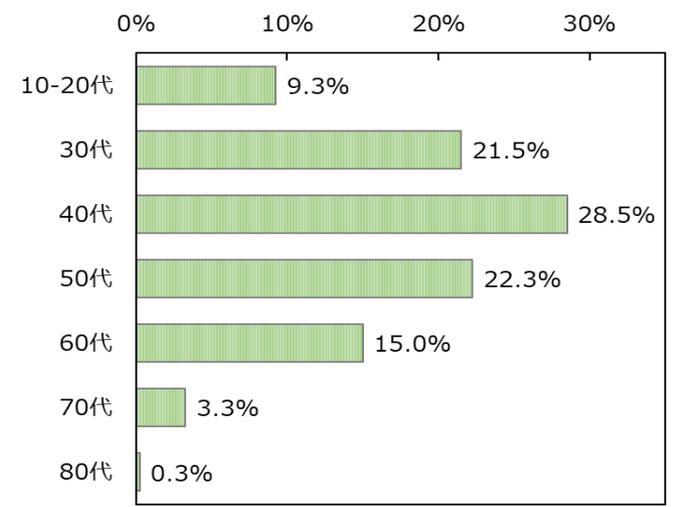
- ・圏域内利用者：往路の乗り、復路の降りて利用（自宅等が泉PASIC周辺）
- ・圏域外利用者：往路の降り、復路の乗りて利用（目的地が泉PASIC周辺）

○回答者の居住地内訳 (n=400人)



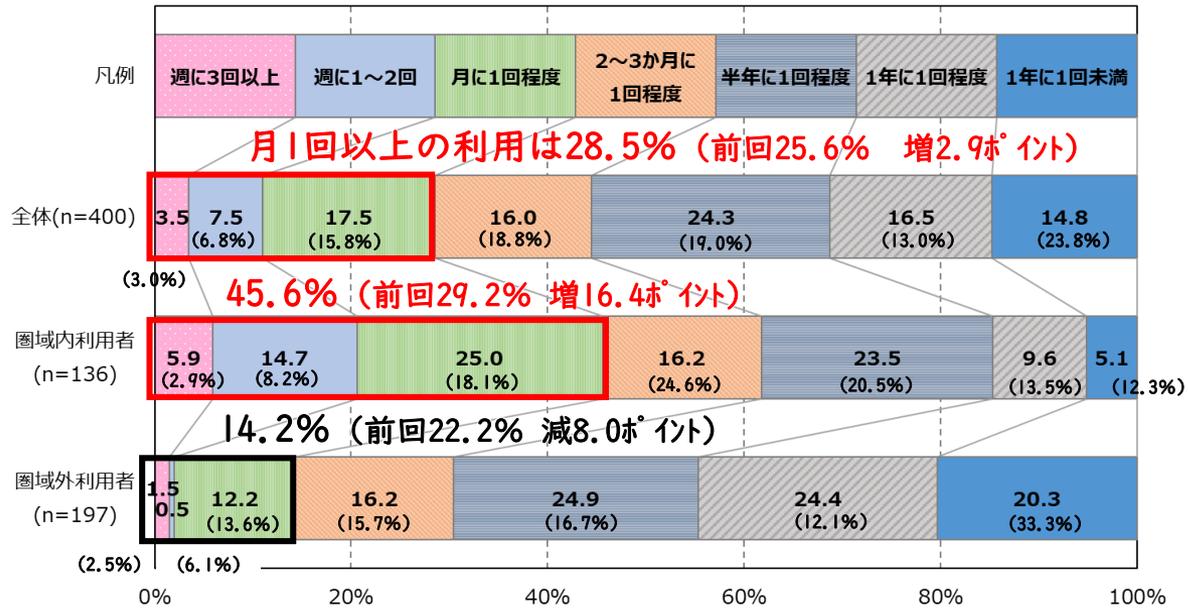
■ 圏域内利用者 ■ 圏域外利用者 □ 利用圏域不明
 グラフ中の【○】は前回調査数値

○回答者（全数）の年代別構成比



5. WEBアンケート調査結果【泉PAスマートICの利用頻度】

- 泉PAスマートIC利用者における
 「月に1回以上利用」する利用者が増加（25.6% ⇒ 28.5% 増2.9ポイント）
 特に圏域内利用者における増加が顕著（29.2% ⇒ 45.6% 増16.4ポイント）
 ☞ **泉PAスマートICの利用頻度が増加傾向**
- 圏域外利用者における**休日**利用の割合が増加（55.5% ⇒ 61.9% 増6.4ポイント）



月1回以上の利用は28.5% (前回25.6% 増2.9ポイント)

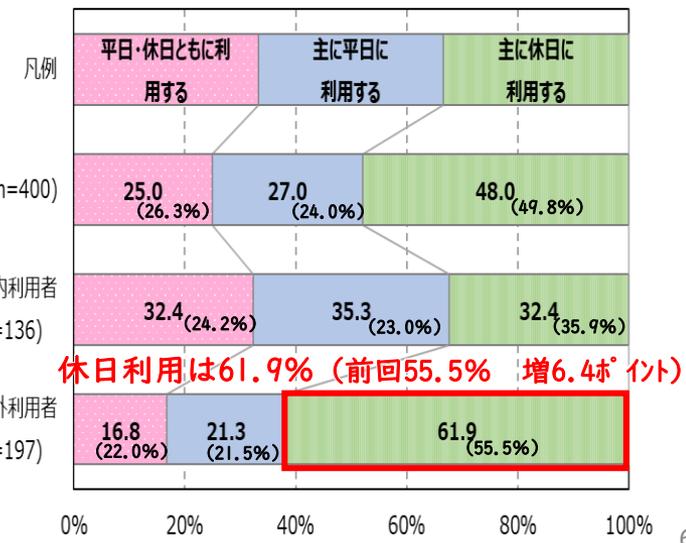
45.6% (前回29.2% 増16.4ポイント)

14.2% (前回22.2% 減8.0ポイント)

▲利用頻度

圏域内利用者：往路の乗り又は復路の降りて利用（自宅等が泉PASIC周辺）
 圏域外利用者：往路の降り又は復路の乗りて利用（目的地が泉PASIC周辺）
 グラフ中の（○%）は前回調査数値

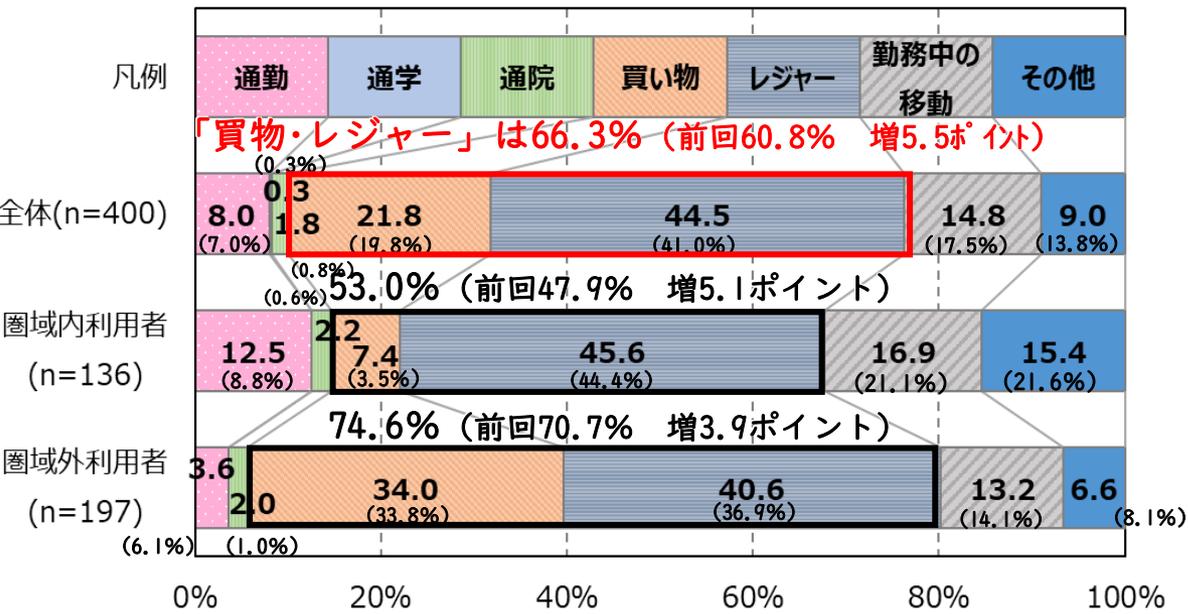
▼利用日（平日・休日）



休日利用は61.9% (前回55.5% 増6.4ポイント)

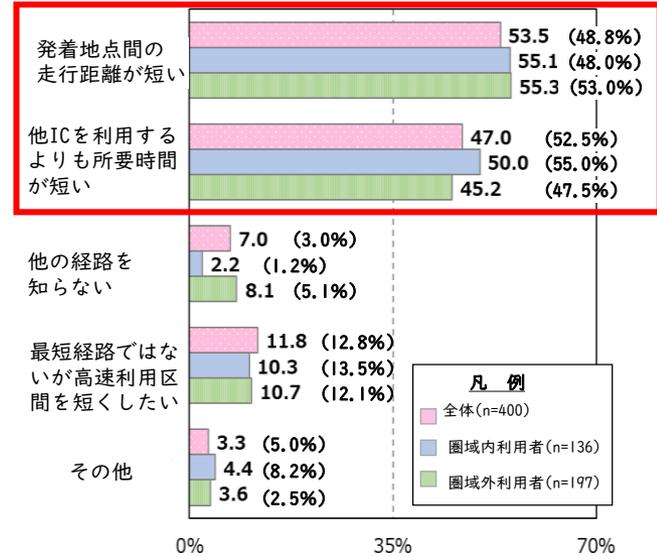
6. WEBアンケート調査結果【泉PASmartICの利用目的】

- 利用時の移動目的として「**買い物・レジャー目的**」の利用者が増加
(60.8% ⇒ **66.3%** 増5.5ポイント)
- 利用する理由としては「**走行距離・所要時間を短縮するため**」が大半を占める



▲利用時の移動目的

走行距離・所要時間を短縮するために利用



▲利用する理由 (複数回答)

圏域内利用者：往路の乗り又は復路の降りて利用 (自宅等が泉PASmartIC周辺)
 圏域外利用者：往路の降り又は復路の乗りて利用 (目的地が泉PASmartIC周辺)
 グラフ中の (○%) は前回調査数値

7. WEBアンケート調査結果【圏域外利用者の目的地】

● 圏域外利用者の約87%(n=172)が『仙台泉プレミアムアウトレット周辺』を目的地に泉PAスマートICを利用



方面	目的施設名	回答数	%	前回
泉PASIC周辺 13.7%	① シェルコム仙台	14	7.1%	6.1%
	② 仙台市泉総合運動場	13	6.6%	8.6%
仙台中央駅周辺 37.1%	③ 泉中央駅	14	7.1%	8.1%
	④ セルバ・セルバテラス	11	5.6%	8.6%
	⑤ アリオ仙台泉	12	6.1%	6.1%
	⑥ イズミティ21	12	6.1%	3.0%
	⑩ 仙台循環器病センター	2	1.0%	-
	⑦ エアテックスタジオ仙台	8	4.1%	8.6%
	⑧ 七北田公園	4	2.0%	-
	⑨ 仙台徳洲会病院	4	2.0%	1.0%
	⑪ 宮城県運転免許センター	6	3.0%	1.5%
	仙台泉 プレミアムアウトレット 周辺 87.3%	⑫ 仙台泉プレミアムアウトレット	100	50.8%
⑬ 泉パークタウンピオ		37	18.8%	21.7%
⑭ 仙台ロイヤルパークホテル		12	6.1%	5.1%
⑮ 泉パークタウンゴルフ倶楽部		6	3.0%	1.5%
⑯ JCHO仙台病院		4	2.0%	-
⑰ 宮城県図書館		8	4.1%	4.5%
⑱ 宮城大学		3	1.5%	3.5%
⑲ 県産業技術総合センター		2	1.0%	-
仙台市中心部 方面 19.8%		⑳ ブランチ仙台	4	2.0%
	㉑ 宮城学院女子大学	3	1.5%	-
その他 33.5%	仙台市中心部 実家や知人等の個人宅	32	16.2%	24.2%
	勤務・業務先	17	8.6%	-
	その他病院	8	4.1%	-
	その他	13	6.6%	17.2%

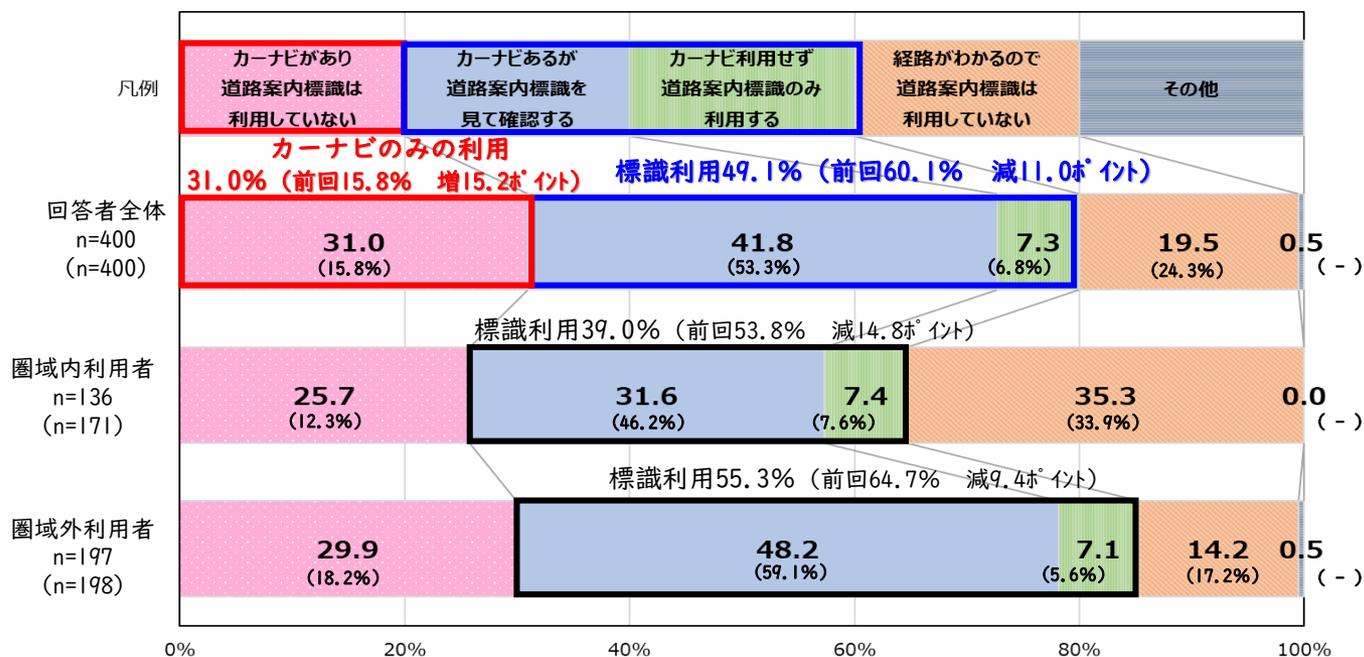
今回：回答者数197人（複数回答：回答総数377）
 前回：回答者数198人（複数回答：回答総数367）

8. WEBアンケート調査結果【道路案内標識の利用状況】

- 道路案内標識を利用し目的地へ行く利用者が大きく減少(60.1% ⇒ 49.1% 減11.0ポイント)
- カーナビ等使用のため道路案内標識を利用せず目的地へ行く利用者が大きく増加(15.8% ⇒ 31.0% 増15.2ポイント)

③ ※カーナビ等を利用して目的地へ行く傾向が強くなっている

※カーAVC機器国内出荷額は5,720億円(2017年)から5,907億円(2020年)に増加(民生用電子機器国内出荷統計:一般社団法人電子情報技術産業協会)する等カーナビの高度化や普及が続いている。また、スマホ経路案内アプリの高度化、普及も要因と考えられる。



▲道路案内標識の利用状況

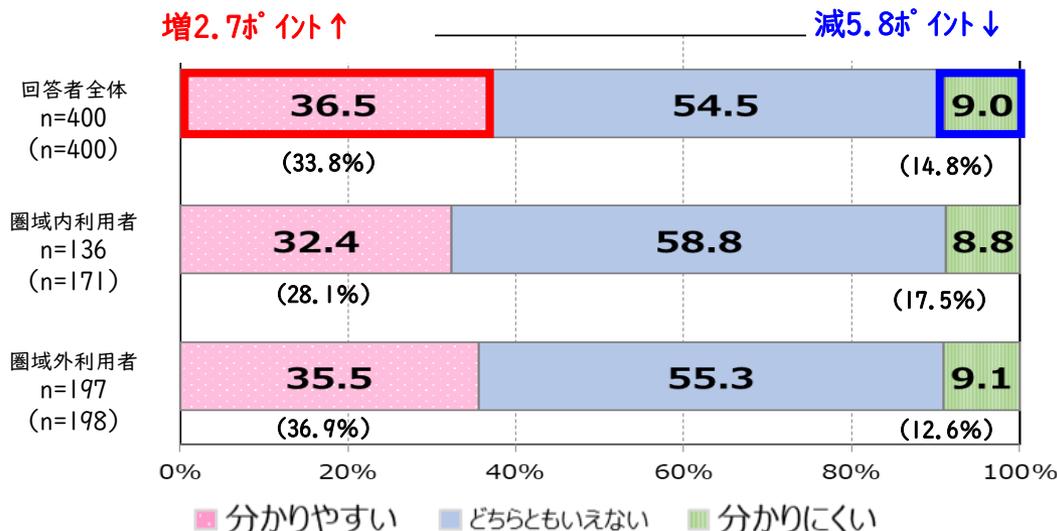
圏域内利用者: 往路の乗り又は復路の降りて利用(自宅等が泉PASIC周辺)
 圏域外利用者: 往路の降り又は復路の乗りて利用(目的地が泉PASIC周辺)
 グラフ中の(○%)は前回調査数値

9. 道路案内標識改善効果の検証(整備効果の評価)

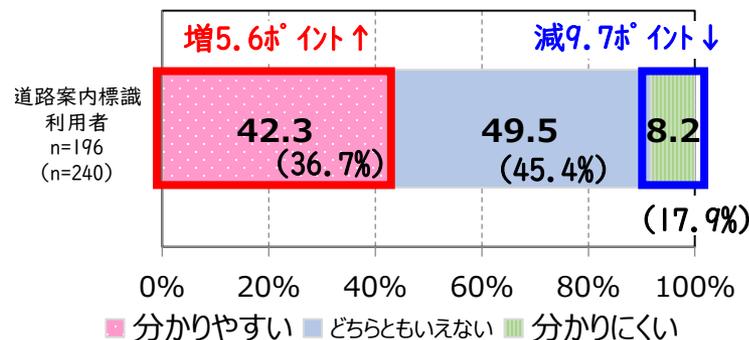
道路案内標識の「わかりやすさ」について整備前・整備後のWEBアンケート結果を比較することにより改善効果の評価を行った。

- 泉PAスマートIC利用者全体(n=400)における評価
 - わかりやすい：33.8%⇒**36.5%(増2.7ポイント)**
 - わかりにくい：14.8%⇒**9.0%(減5.8ポイント)**
- 道路案内標識を利用していると回答した利用者(n=196)における評価
 - わかりやすい：36.7%⇒**42.3%(増5.6ポイント)**
 - わかりにくい：17.9%⇒**8.2%(減9.7ポイント)**

道路案内標識の「わかりやすさ」が向上し、「わかりにくさ」が減少 ⇒ **標識の改善効果がみられた**



▲泉PAスマートIC利用者全体における評価



▲道路案内標識を利用していると回答した利用者における評価

圏域内利用者：往路の乗り又は復路の降りて利用（自宅等が泉PASIC周辺）
 圏域外利用者：往路の降り又は復路の乗りて利用（目的地が泉PASIC周辺）
 グラフ中の（○%）は前回調査数値

10. 道路案内標識改善効果の検証(アクセス経路別の評価)

主なアクセス経路別に利用状況と道路案内標識の「わかりやすさ」を比較した。

- 『仙台泉プレミアムアウトレット方面』の往来が42.0%と最も多く、道路案内標識のわかりやすさも43.5%と経路別で最も高い評価であった。



1.1. 道路案内標識改善効果の検証(「わかりにくい」と回答した理由)

道路案内標識が「わかりにくい」と回答した理由について前回調査との比較を行った

- 「わかりにくい」と回答した**意見数は86件⇒51件に減少**した。
- 「わかりにくい」とした理由のうち「泉PAスマートICの直近にしか道路案内標識がない」ことを理由とする意見が18件と多いが、前回調査時(35件)から半減している。
- 少数であるが「街路樹に隠れて道路案内標識が見えない」を理由とする意見が前回調査時から4件⇒5件に増えている。

		泉PAスマートIC利用者全体 意見数					
					内 道路案内標識利用者		
		今回	前回	増減	今回	前回	増減
「わかりにくい」と回答した人数		36人 (39%減)	59人	-23	16人 (63%減)	43人	-27
回答理由(複数回答有)		51件 (40%減)	86件	-35	25件 (59%減)	61件	-36
理由 内 訳	選択肢① 文字が小さい	9件 (10%減)	10件	-1	4件 (43%減)	7件	-3
	選択肢② IC名が書かれていない	1件 (75%減)	4件	-3	1件 (-)	1件	0
	選択肢③ 泉ICか泉PASICか分からない	14件 (50%減)	28件	-14	7件 (70%減)	23件	-16
	選択肢④ 泉PAスマートICの直近にしか道路案内標識がない	18件 (49%減)	35件	-17	11件 (58%減)	26件	-15
	選択肢⑤ 街路樹に隠れて道路案内標識が見えない	5件 (25%増)	4件	1	2件 (-)	2件	0
	その他(自由記載)	4件 (20%減)	5件	-1	0件 (100%減)	2件	-2

(〇%)は増減数を前回調査数で除して算出

14. WEBアンケート調査結果及び道路案内標識等の改善効果まとめ

◎泉PAスマートICの利用者動向の変化

- 「月に1回以上利用する」利用者の割合が増加(25.6%⇒28.5%)するなど、泉PAスマートICの利用頻度が増加傾向である。
- 道路案内標識を利用して目的地へ行く利用者の割合が減少(60.1%⇒49.1%)するなど、カーナビ等を利用して目的地へ行く傾向が強くなっている。

◎泉PAスマートIC周辺の道路案内標識の改善効果

- 利用者全体の「わかりやすい」と回答した割合が増加(33.8%⇒36.5%)し、「わかりにくい」と回答した割合が減少(14.8%⇒9.0%)するなど、利用者の評価が向上していることから道路案内標識の改善効果を確認できた。
一方で、「街路樹に隠れて道路案内標識が見えない」などの意見もあり、街路樹の剪定などの維持管理を引き続き適正に行う必要がある。